

まちづくり評価シート

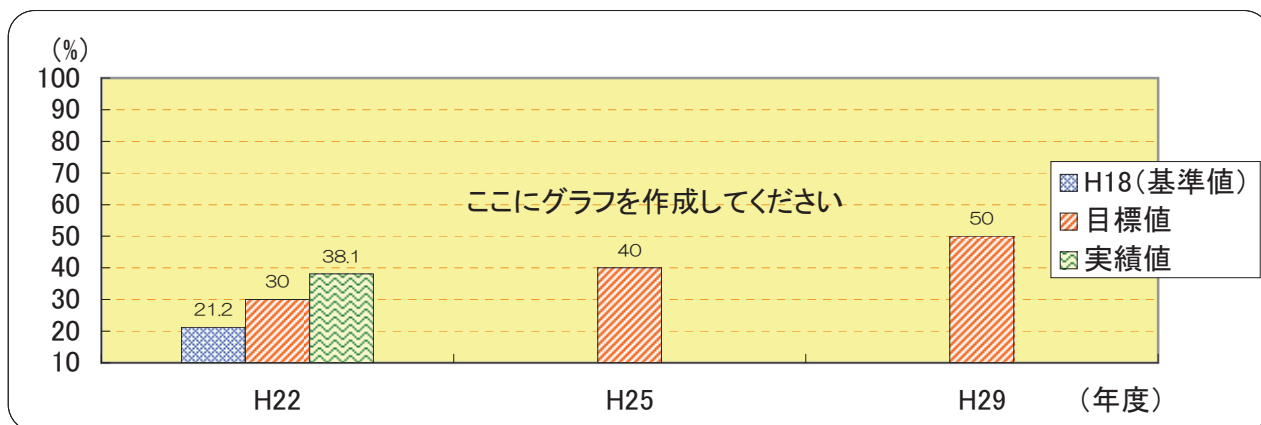
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

高齢者生きがい課【担う柱：1 高齢者の住み慣れた地域での生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 高齢者が生きがいをもって暮らしていけるよう、高齢者福祉事業の推進に努めた。
目標値	%	—	30.0	
実績値	%	21.2	38.1	
達成率	%	—	127.0	
達成状況	—	—	☀️	



全体目標に対するまちづくり評価



地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業の実施及び相談窓口の充実並びに、シルバー人材センター、老人クラブの活動を支援しているが、今後も引き続き高齢者福祉事業の推進に努めていただきたい。

個別目標① 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

指標名	高齢者人口に占める要介護者の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・介護認定支援事業 ・地域支援事業
目標値	%	—	14.0	14.5	15.0	
実績値	%	13.0	12.4	12.3		
達成率	%	—	112.9	117.9		
達成状況	—	—	☀️	☀️		

取り組みの状況


市民	地域包括支援センターの職員が、直接、特定高齢者宅を訪問し介護予防事業の目的を説明し参加を促した。
市役所	公平・適正な介護認定を行うため、審査委員や調査員の研修を行った。 介護予防事業参加のため特定高齢者に事業参加を促す文書を発送し、その後包括支援センターが直接アプローチした。

指標名	介護保険サービスを利用している割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	78.0	79.0	80.0	・介護保険居宅サービス等給付事業 ・介護保険施設サービス給付事業 ・介護サービス負担軽減事業 ・住宅改修・福祉用具支給決定事業
実績値	%	77.2	77.8	77.2		
達成率	%	—	99.7	97.7		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	介護サービスなどの利用について、市の窓口や地域包括支援センターなど複数の相談窓口が設けられている。					
市役所	介護サービスの利用促進を図り、介護保険ガイドブックを送付し、広報にサービス利用の案内を掲載しその利用に努めた。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>現在の方針通り、地域で安心・安全に暮すため、要介護等の状態になるのを防ぐため、介護予防事業のPRを行わない参加を募り、実施参加人数の増加を目指す。</p> <p>また、介護状態になっても地域で安全・安心に暮せるように介護サービスの選択肢を増やし、安定したサービスの供給を目指す。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>これからの高齢化社会に向けて、要介護認定者になるのを防ぎ、介護に係る給付費を抑える一方、介護状態になっても必要な介護サービスが安心して受けられるよう、サービスの充実を目指していただきたい。</p>	

個別目標② 高齢者が在宅で安心して暮らしている

指標名	高齢者の在宅生活のための福祉サービスが充実していると感じる市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	29.0	29.5	30.0	・福祉電話設置事業 ・緊急通報装置設置事業 ・高齢者住宅改善助成事業 ・寝具洗濯事業 ・老人日常生活用具給付事業 ・シルバーガイドブック作成事業 ・給食サービス事業 ・高齢者タクシー基本料金助成事業 ・外国人高齢者福祉手当支給事業 ・訪問理髪等事業 ・高齢者虐待防止ネットワーク運営事業 ・生活支援訪問事業 ・生活支援通所事業 ・生活支援短期宿泊事業 ・高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 ・在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業 ・在宅ねたきり老人等介護慰労事業 ・福祉有償運送運営事業 ・老人保護措置事業
実績値	%	28.5	—	—	34.5	
達成率	%	—	—	—	115.0	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	高齢者の在宅生活のための福祉サービスがなされている。
市役所	高齢者の在宅生活に必要な福祉サービスに関する各種事業を展開している。

目標達成のための今後の展開方針	
高齢者の生活における諸問題(虐待・独居老人の健康管理)等に対応が、地域包括支援センターを中心に解決に向けて活動しているが、市の関係課担当職員との連携が必要であり今後においても従来どおり支援、連携を図ることが必要である。	

個別目標に対するまちづくり評価	
高齢者の生活における諸問題(虐待・独居老人の健康管理)等に対応が、地域包括支援センターを中心に解決に向けて活動しているが、市の関係課担当職員との連携が必要であり今後においても従来どおり支援、連携を図ることが必要である。	

個別目標③ 老後も高齢者は生きがいをもって充実した生活を送っている

指標名		シルバー人材センターの登録者数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・高齢者生きがい活動事業
目標値	人	—	561	596	631	
実績値	人	491	477	429		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—	↑	↑		

取り組みの状況	
市民	高齢者が生きがいをもって働きたいと思うよう方に、シルバー人材センターの会員登録ができるようになっており、諸事業を広報掲載で情報が得られている。
市役所	高齢者が生きがいをもって働きたいと思える事業を展開するためにシルバー人材センターへの補助金を交付している。

指標名		老人クラブの会員数				
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・老人クラブ事業
目標値	人	—	7,344	7,822	8,302	
実績値	人	6,866	6,612	6,538		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—	↑	↑		

取り組みの状況	
市民	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送れるように、老人クラブ事業が展開されている。
市役所	高齢者が親睦を深めたり地域活動を行ったりして、生きがいのある充実した生活を送ってもらうように、老人クラブ事業を支援し、補助金を交付している。

目標達成のための今後の展開方針

高齢者が生きがいのある充実した生活を送ってもらえるように、シルバー人材センター、老人クラブへの補助金を交付し、支援をしていく。

個別目標に対するまちづくり評価

高齢者が生きがいのある充実した生活を送ってもらえるように、今後もシルバー人材センター、老人クラブへの支援をしていきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業の実施及び相談窓口の充実が図れたこと及び、地域密着型サービス事業を実施したことにより、介護保険サービスの選択肢が増えた。また、高齢者が生きがいをもって暮らすことができるよう、シルバー人材センター、老人クラブの活動を支援した。

◆柱全体の今後の課題

平成22年4月に実施した市民満足度調査結果では、高齢者が生きがいをもち、自立して暮しているとの思いについて、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と感じている市民が約40%あるため、高齢者が生きがいのある充実した生活が送れるように時代に即した活動支援が必要である。

また、急速な高齢化に伴い、独居高齢者や介護を必要とする高齢者の増加が予測されることから、高齢者の孤立化を防ぐ取り組みや介護が必要とならないための支援が必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

高齢者が住み慣れた自宅や地域で生きがいを持って活動的に暮らしていくことができるように、地域での見守り体制の整備や、民生委員や社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と協働して、高齢者をこれからの地域を担う重要なマンパワーとして位置づけ、その地域活動を支援していく。

また、高齢者が健康で豊かな生活を送ることができるよう、高齢者の介護予防に対する意識を高めるとともに、地域や関係機関と協働して介護予防事業を推進していく。

まちづくり評価シート

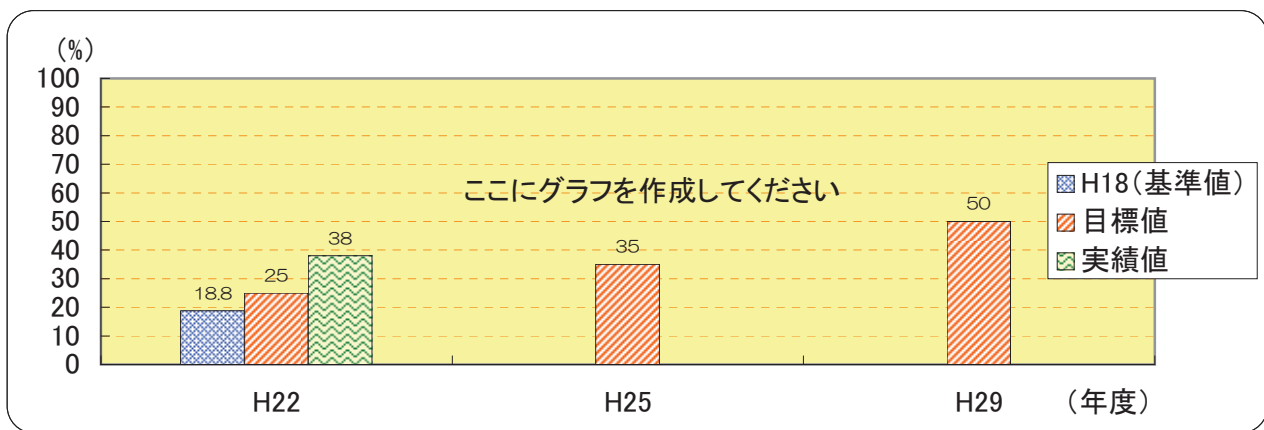
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

子育て支援課【担う柱：2 地域で安心して子育てできる環境づくり】

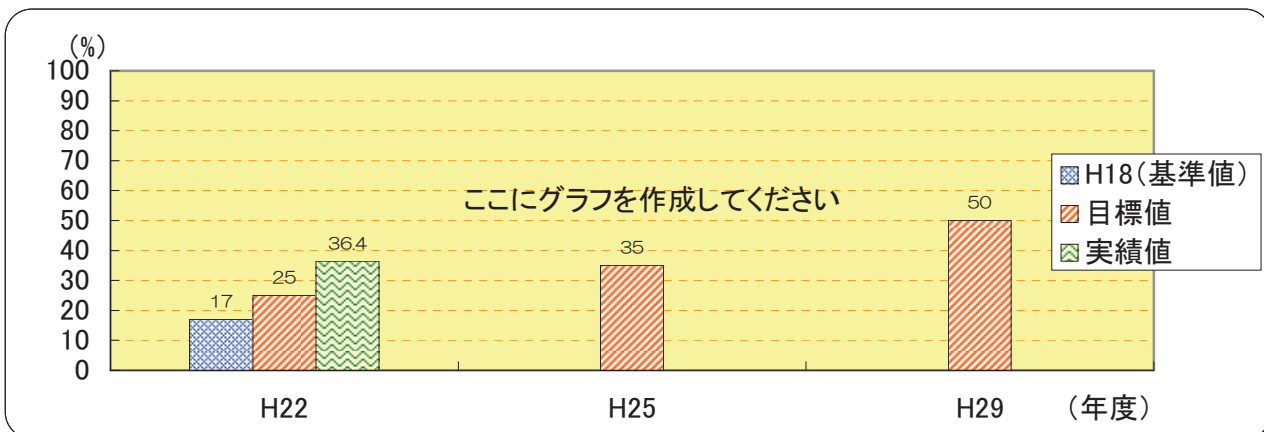
◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 安心して子育てしている

指標名	延長保育などの保育サービスを受け、安心して子育てしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果では、目標値を達成することができた。21年度から1園で夕方1時間延長して午後8時まで実施しており、保護者の希望に添えた保育サービスを整えた。
目標値	%	—	25.0	
実績値	%	18.8	38.0	
達成率	%	—	152.0	
達成状況	—	—	☀️	



指標名	学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じている市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果では、目標値を達成することができた。子育て支援センターを1センター増設するとともに、基盤施設として、保育園、保健センター等と連携し子育て支援の充実を図った。
目標値	%	—	25.0	
実績値	%	17.0	36.4	
達成率	%	—	145.6	
達成状況	—	—	☀️	



全体目標に対するまちづくり評価

近年の急激な社会変化の中で、子どもたちの豊かな心と健やかな育ちを育むために、きめ細かな子育て支援サービスが求められているが、行政だけでなく地域全体で子育て支援・子どもの健全育成に取り組む必要がある。そのためには、地域全体で子育てを応援するという意識啓発を行い、家庭、地域でできることから積極的に取り組み、市民と行政、団体、そして地域が連携して、よりよい子育て環境づくりをすすめる必要がある。

個別目標① 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができています

指標名 保育園入園待機児童数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・保育実施事業 ・保育実施事業(保育園)
実績値	人	0	0	0		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	家庭で保育できない保護者は、保育園への入園申請をした。					
市役所	入園希望数に添って施設の整備を図った。					

指標名 ファミリー・サポート・センター援助員数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	90	95	100	・ファミリー・サポート・センター事業
実績値	人	85	100	106		
達成率	%	—	111.1	111.6		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	子育てを地域で支えあう組織に積極的に参加した。					
市役所	アドバイザーやサブリーダーが中心になって、制度の周知を図るとともに、依頼者、援助者の連絡調整をした。					

指標名 学童保育受入待機児童数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	0	0	0	・放課後児童健全育成事業
実績値	人	0	7	0		
達成率	%	—	0.0	100.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	家庭で保育できない保護者は、学童保育の申請をした。					
市役所	待機児童解消のため、申し込み期間内の申し込みについては、全申込み者を入所させた。					



目標達成のための今後の展開方針



保育園については、効率的な運営に努めるとともに、夫婦共働きの勤労世帯の増加や就労時間の多様化などから、低年齢児保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育など、多様な保育サービスの充実が求められており、子育て支援の基盤整備を推進していく。
学童保育利用者が今後も増加することが予想されるため、施設の確保に努めるとともに、利用者から要望もある開設時間の延長等についても検討を進める。

個別目標に対するまちづくり評価

保育園については、待機児童も無く、18園で利用者にとって比較的住居の近くにあり利便性がある面では評価できるが、施設の老朽化、狭い園庭、送迎用の駐車場が無いなど幾多の課題がある。

個別目標② 家庭での子育て不安が解消でき、育児が楽しくできている



指標名	子育て支援センター(子育てサロン)の利用者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	8,000	8,400	8,700	・子育て支援センター事業
実績値	人	7,632	7,297	9,921		
達成率	%	—	0.0	118.1		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	子育て中の家庭の保護者が、育児不安などがある場合には気軽に利用した。また、子育て教室や講座に積極的に参加し、知識の習得に努めた。					
市役所	子育て家庭などに対して、育児不安などに対する相談、助言、子育てサークルの育成、ほほえみ広場の開催、父親の育児参加を推進・啓発し、ニーズに応じた教室・講座を開催した。また、施設の増設を図り、利用しやすい環境の整備に努めた。					

指標名	児童虐待発生件数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	↓	↓	↓	・児童委員事業 ・育児支援家庭訪問事業 ・家庭児童相談事業 ・要保護児童対策地域事業
実績値	件	6	19	4		
達成率	%	—	—	—		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	地域等で、児童虐待やネグレクトと思われるような案件を見聞きした場合に、市役所または児童相談センターまで通報した。					
市役所	市民等より通報があった場合、速やかに訪問し、その状況を確認するとともに、児童相談センターへ報告し、対応の方法を協議した。その後引き続き見守りが必要な場合は、江南市要保護児童対策地域協議会の実務者会議で関係機関と情報を共有した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>子育て支援センターについては、子育て不安の早期発見を図るため、保健センターとも連携するとともに、市内2施設で子育て中の家族や子育てサークルを支援して行く。</p> <p>児童虐待については、限りなくゼロに近づけることが最終目的である。いかに情報を提供してもらうかが課題なので、機会をとらえて関係機関及び地域に対し、引き続き啓蒙に努める。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>子育て支援センターについては、21年度において北部地区に1か所新設されたことにより、利用の利便性が図られ評価できる。</p> <p>児童虐待については、子どもの安全を第1に考え、通報後のフォローに対する事務の進め方は評価できる。匿名での通報を除き、通報者に対して事後の経過を報告していただきたい。</p>	

個別目標③ 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

指標名	児童館活動への延べ参加利用者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	134,000	137,000	140,000	・児童館活動事業
実績値	人	132,393	115,786	113,594		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	市民が積極的に児童館活動に参加した。					
市役所	地域に密着した、子どもが親しみやすく気軽に遊びに来る児童館にした。					

指標名	子どもフェスティバル来場者数					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業

目標値	人	—	23,000	26,000	30,000	・子どもフェスティバル事業
実績値	人	20,000	18,000	50,000	12,000	
達成率	%	—	0.0	192.3	0.0	
達成状況	—	—	↑	☀	↑	

取り組みの状況	
市民	親子そろって、こどもフェスティバルに参加した。
市役所	多くの催し物を企画し、親と子の交流、子ども同士の交流を深めるとともに、市民参加型のイベントとして企画実行した。(平成21年度のみ2日間開催)

目標達成のための今後の展開方針
児童館活動については、企画内容や遊び方など、児童館の本来あるべき姿を再度検討する必要がある。子どもフェスティバルの催し物の形態に着目しているが、マンネリ化しないためにも運営協議会等で新たな催し物を企画していく。

個別目標に対するまちづくり評価
達成率は天候に大きく左右されることになるが、今後更なる顧客増加に向け努力してほしい。

個別目標④ 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てができています

指標名	ひとり親家庭の自立人数					主な事務事業 ・児童・遺児手当等事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	90	90	90	
実績値	人	83	87	82		
達成率	%	—	96.7	0.0		
達成状況	—	—	☀	↑		

取り組みの状況	
市民	児童扶養手当の受給者は、手当の意義が自立するまでの支援であることを自覚し、1日も早く自立した生活を送ることができるよう努力した。
市役所	より安定した就職先を得るために、資格を取得するための就労教育訓練を案内し、母子家庭の自立を促すため、相談業務を行った。

指標名	母子家庭が自立するための就労への教育支援件数					主な事務事業 ・母子家庭自立支援給付事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	件	—	10	15	20	
実績値	件	6	2	1		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—	↑	↑		

取り組みの状況	
市民	母子家庭として自立して生活できるよう努力しなければならないことを自覚し、より安定した就職先を得るために、資格が取得できるよう努力した。
市役所	より安定した就職先を得るために、資格を取得するための就労教育訓練を案内し、該当者に自立支援教育訓練給付金を支給した。



目標達成のための今後の展開方針



ひとり親家庭の自立人数は、行政努力よりも本人の自覚による影響が大きく左右していると考えられるが、就労についての相談があれば、的確にアドバイスできるように努めている。就労への教育支援件数は目標値に比べ実績が伴っていないが、母子相談の件数をみると、平成20年度実績323件に対し平成21年度実績が357件あり、増加する相談への的確な対応に努める。

個別目標に対するまちづくり評価

ひとり親家庭における親の就労により、子どものみで過ごしている家庭が見受けられ、子どもの安全が心配される。このような家庭に対する手厚い支援をお願いしたい。

個別目標⑤ 障害児は療育支援や統合保育での発達支援を受けている

指標名	市の母子通園施設への受入待機児童数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	0	0	0	・障害児デイサービス事業
実績値	人	0	0	0		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	健康検査で指摘された障害児や発達に遅れがある子どもを持つ保護者は、積極的に施設を利用し療育指導を受けた。					
市役所	関係機関と連携を図りながら、集団療育訓練、日常生活自立訓練、その他の訓練を行い。子どもの健全な育成を援助した。					

指標名	保育園の障害児受入待機児童数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	0	0	0	・保育実施事業(保育園)
実績値	人	0	0	0		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	保育園での健常児との統合保育を希望する保護者は、積極的に入園申請をした。					
市役所	集団保育が必要な障害児のために、健常児との統合保育により、成長発達の促進を支援した。					

目標達成のための今後の展開方針

関係機関との連携を密にし早期発見、療育指導による発達支援を行うとともに、民間の事業者が行っている事業の活用を図って行く。

個別目標に対するまちづくり評価

幼児期における障害児への対応は、わかかさ園での療育指導、保育園での健常児との統合保育が実施されており評価できる。

◆柱全体の得られた成果

平成21年4月から、布袋北保育園、古知野児童館及び藤ヶ丘児童館に指定管理者制度を導入し、運営の効率化を図った。子育て支援センターについては、利用者の増加及び利便性を考慮し、平成21年7月に第2子育て支援センターを開設した。

◆柱全体の今後の課題

近年、夫婦共働きの勤労世帯の増加、就労形態の多様化・複雑化、核家族化の進展や地域での人と人のつながりやきずなが希薄化する中、子どもたちや親を取り巻く環境は大きく変化してきており、保育サービスの充実を望む声や子育て家庭の孤立化などで親の育児不安や負担も増加傾向にあります。このため、親が子どもを育てやすい環境整備を図ることが求められており、積極的に支援することが必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

保育園については、現在のところ待機児童はいないが、特に3歳未満児の入園希望者は増加傾向にあり、低年齢児保育の対応が必要となってきた。また、多様化する保育サービスへのきめ細かな対応に努める。学童保育の利用者が年々増加することが予想されるため、小学校の余裕教室の活用に努めるとともに、開設時間を延長することにより就労時間の多様化への対応に努める。子育てに関する相談が気軽にでき、多様な相談内容に対応できるよう、各相談窓口の連携に努める。

まちづくり評価シート

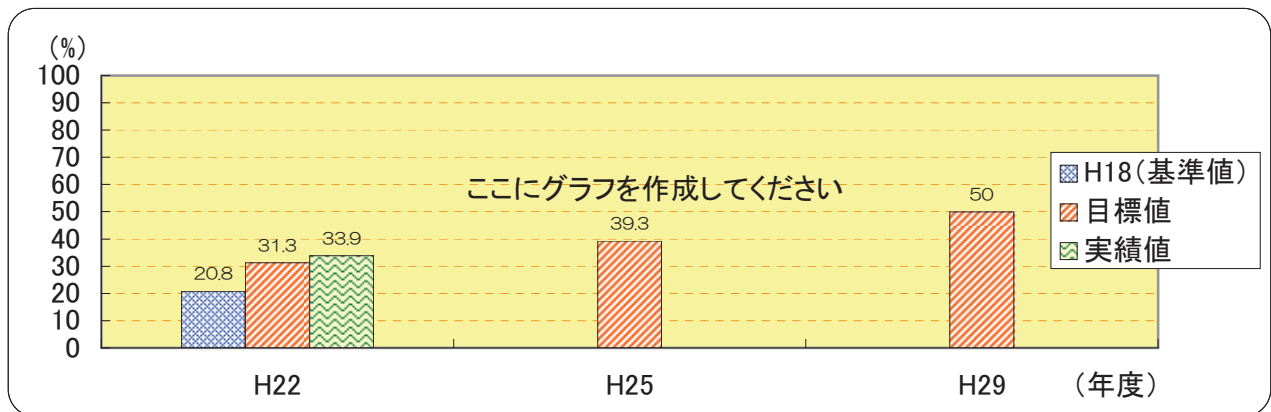
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱：3 障害者の生きがいと安心した生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	福祉サービスが整っており、障害のある人が、作業所への通所やホームヘルパー、デイサービスなどの利用により、地域でいきいきと生活していると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析 平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の平均達成率が108.3%という結果になった。これは、障害者自立支援法が制定され、一元的にサービスを提供できるようになったため。
目標値	%	—	31.3	
実績値	%	20.8	33.9	
達成率	%	—	108.3	
達成状況	—	—	☀️	



全体目標に対するまちづくり評価

障害者個々の状況や必要とする障害者福祉サービスは違うが、障害の状況に応じた障害福祉サービスが提供されている。障害福祉サービスの提供体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行い利用増に繋がっているが、今後も、さらなるサービス提供事業所の拡大に努めていただきたい。

個別目標① 障害者が生活しやすい社会環境が整備され、能力にあった就労・社会参加をしている

指標名	障害者の雇用率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・心身障害者小規模授産施設管理運営事業 ・職親委託事業
目標値	%	—	1.80	1.80	1.80	
実績値	%	1.46	1.50	1.51		
達成率	%	—	11.8	14.7		
達成状況	—	—	↑	↑		

取り組みの状況

市民	犬山公共職業安定所、市役所内ワーキングステーションなどで職業相談を受けた。
市役所	犬山公共職業安定所等と連携し障害者雇用の促進・周知に努めた。 心身障害者小規模授産施設への通所利用を図った。

指標名		公共施設のバリアフリー化率				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・障害者計画及び障害福祉計画策定事業
実績値	%	60.1	69.8	69.8		
達成率	%	—	—	—		
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	複数階における公共施設に、エレベーターの整備や視覚障害者誘導用ブロックの敷設などの要望をした。					
市役所	平成20年度に、名鉄江南駅東口へエレベーターを設置した。					

指標名		就労継続支援及び就労移行支援サービスの利用人数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	49	61	73	・障害者計画及び障害福祉計画策定事業
実績値	人	不明	12	13		
達成率	%	—	24.5	21.3		
達成状況	—	—	↑	↑		
取り組みの状況						
市民	市内の障害者福祉サービス事業所で、利用者がかかわり製品化した授産製品を市役所で販売した。					
市役所	就労継続支援及び就労移行支援サービスを提供する施設を支援した。					

目標達成のための今後の展開方針	
障害者の就労に対する相談体制の充実や福祉的就労の場を確保していく。	

個別目標に対するまちづくり評価	
障害者自立支援法に基づき、就労に向けた就労移行支援や就労継続支援のサービスを実施する事業所の参入の働きかけをお願いしたい。	



個別目標② 障害者は日常生活の支援を受け、安定した生活をしている

指標名		施設入所支援サービスの利用人数				
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	87	87	87	・障害者施設訓練等支援事業
実績値	人	94	94	90		
達成率	%	—	92.6	96.7		
達成状況	—	—	☀	☀		

取り組みの状況

市民	地域での自立を目指し、自主訓練やグループホームなどの支援を受けた。
市役所	生活介護、自立訓練などの日中活動系サービスを利用し、グループホーム等に移行し施設入所者数の削減に努めた。

指標名	訪問系サービス(ホームヘルプ等)の利用人数				
-----	-----------------------	--	--	--	--

	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	89	89	89	・障害者居宅生活支援事業
実績値	人	77	92	78		
達成率	%	—	103.4	87.6		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	地域での自立した生活を送るために、居宅介護(ホームヘルプ)や重度訪問介護等の支援を受けた。
市役所	個々の状況に応じた居宅介護(ホームヘルプ)や重度訪問介護等の訪問系サービスを提供した。

目標達成のための今後の展開方針

利用者、保護者、事業所と連携を取りながら個々の状況を踏まえ支援に取り組む。

個別目標に対するまちづくり評価

障害者が安定した生活を送るため何を求めているのかのニーズ把握をお願いしたい。
--

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

障害者個々の状況や必要とする障害者福祉サービスは違うので、聞き取りにより障害状況に応じた障害者福祉サービスを提供することができた。
障害者福祉サービスの提供体制を確保するため、障害福祉サービス提供事業所に対し、事業参入の働きかけを行ったことにより、利用増に繋がった。

◆柱全体の今後の課題

障害のある人が安心して生活していくために、障害のある人やその家族が相談できる身近な相談場所の確保や必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制の充実が求められている。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

相談窓口として地域サービスセンター及び精神障害者地域活動支援センター「希楽里」の利用促進のため周知と啓発に努めるとともに、障害者が地域で生活していくうえで必要となる障害福祉サービスを実施するサービス事業所の参入を働きかけ、施設整備の支援に努める。

まちづくり評価シート

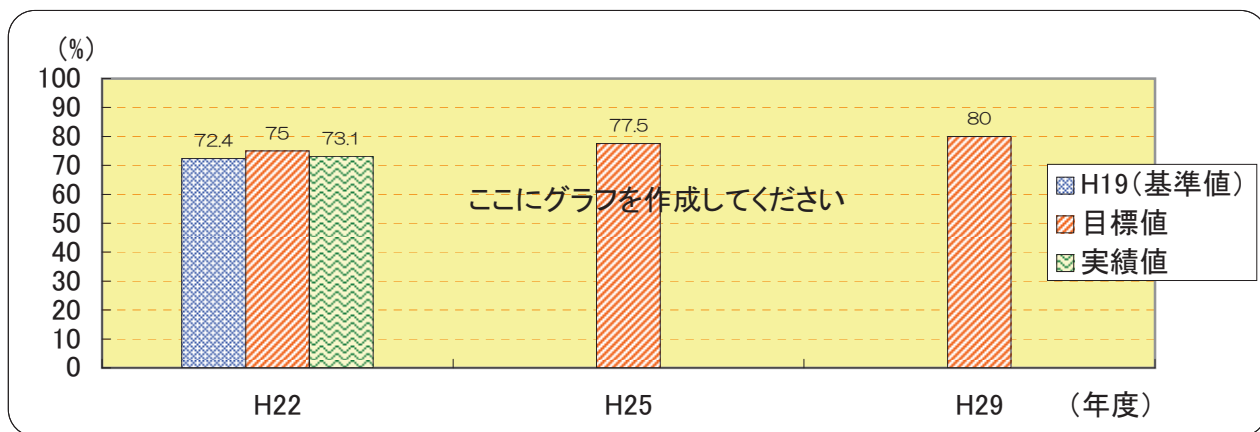
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

健康づくり課【担う柱：4 健康な生活の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

指標名	健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H22	
目標値	%	—	75.0	前回調査より0.7ポイント上回った。 市が実施している生活習慣病予防の各種健診や健康教育、健康相談等の取り組みが評価されつつある。
実績値	%	72.4	73.1	
達成率	%	—	97.5	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

市民満足度調査で、73.1パーセントの市民が、「健康づくりに取り組み、健康に暮らしていると感じており」目標値は達成していないが、市が実施している健康増進事業や疾病予防事業などの取り組みが除々にではあるが評価されつつある。

一方、がん検診を始めとする検(健)診の受診率が低いという現実もあり、疾病の早期発見、早期治療のためにも、健康診査の啓発を広くPRするとともに、食と運動を中心とした健康教育により、健康保持、増進を推進することで、市民の健康意識の醸成を図っていく必要がある。



個別目標① 自らが疾病予防に取り組んでいる

指標名	健康診査受診率					主な事務事業
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	70.0	70.0	70.0	・健康管理事業 ・後期高齢者等健康診査事業 ・節目年齢歯科健康診査事業
実績値	%	67.7	—	—	65.5	
達成率	%	—	—	—	0.0	
達成状況	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	健康診査・がん検診・節目年齢歯科健康診査等を受診した。
市役所	広報・ホームページに掲載し、ポスター・回覧板にて市民に周知した。 後期高齢者等健診と節目年齢歯科健康診査については、対象者への個別通知をした。

指標名 運動習慣のある市民の割合【男】						
	単位	H14 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	19.9	23.4	27.0	・成人保健事業 ・介護予防事業
実績値	%	16.4	—	—		
達成率	%	—	—	—		
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、体を普段から動かすように意識した。					
市役所	生活習慣病予防の教室に運動の内容を組み入れて実施した。 あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。					

指標名 運動習慣のある市民の割合【女】						
	単位	H14 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	17.3	20.6	24.0	・成人保健事業 ・介護予防事業
実績値	%	14.0	—	—		
達成率	%	—	—	—		
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	市が実施する事業へ積極的に参加するとともに、体を普段から動かすように意識した。					
市役所	生活習慣病予防の教室に運動の内容を組み入れて実施した。 あらゆる機会を通して健康体操等の普及に努めた。					



指標名 健康フェスティバル参加者数						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	2,000	2,000	2,000	・健康推進事業
実績値	人	1,600	3,838	2,204		
達成率	%	—	191.9	110.2		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	健康フェスティバルに参加した。					
市役所	生活習慣の見直しをテーマとして健康フェスティバルを実施した。					

目標達成のための今後の展開方針	
<p>広報や通知案内等の内容を市民により分かりやすく伝える視点で作成し、健康コラム等で広く正しい知識を伝えていくことで受診行動につなげていく。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>健康日本21こうなん計画に沿って、運動習慣のある市民が増加する取り組みをあらゆる機会に取り入れて実施</p>	



できている。運動や食生活などの健康習慣は継続が必要なため、今後も引き続き実施していただきたい。

個別目標② 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

指標名 予防接種(三種混合)接種率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値	%	89.4	93.5	95.0		
達成率	%	—	93.5	95.0		
達成状況	—	—				



取り組みの状況

市民	三種混合予防接種の必要性を理解し予防接種(医療機関)を受けた。
市役所	三種混合予防接種の必要性や副反応を説明し予防接種を受けることを勧奨した。

指標名 予防接種(BCG)接種率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・予防接種事業
実績値	%	98.1	99.9	99.5		
達成率	%	—	99.9	99.5		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	BCGの必要性を理解し保健センターで実施する集団方式の予防接種を受けた。
市役所	BCG接種の必要性や副反応を説明し予防接種を受けることを勧奨した。

指標名 狂犬病予防注射接種率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・動物管理事業
実績値	%	83.6	84.5	84.5		
達成率	%	—	84.5	84.5		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	狂犬病の予防注射を集団の接種会場又は動物病院で実施し、注射したことを届け出た。
市役所	狂犬病の予防注射の勧奨と注射済であることを届け出る必要性を周知した。



目標達成のための今後の展開方針



予防接種については、必要性や副反応についての説明及び個別通知を実施する。
 集団で実施しているMR3期を個別接種へ移行する。
 季節性インフルエンザの実施時期等を1ヵ月早め10月からにする。
 感染症予防に関する情報を広報等で普及する。
 ヒブ・肺炎球菌・子宮頸がんワクチン接種の助成を検討する。

個別目標に対するまちづくり評価

市民は、感染症予防の基本である手洗い、うがい等を実践し感染症予防に努める。平成21年度は新型インフルエンザの流行で、感染症予防に感心が集まりマスク等不足する事態に発展した。また、季節性インフルエンザの接種を希望した者が受けられない状況があった。希望するワクチン接種については受けられやすい体制をお願いしたい。また、新たなワクチン(ヒブ、肺炎球菌等)の接種費用の助成を要望する。

個別目標③ 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子共に健康に暮らしている

指標名	妊婦健康診査の受診率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値	%	95.3	94.3	97.0		
達成率	%	—	0.0	97.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	医療機関にて妊産婦健康診査14回、産婦健康診査を1回受診した。					
市役所	母子手帳交付時に妊産婦健康診査の受診の大切さを周知するとともに、制度の利用方法を知らせた。					

指標名	乳幼児健康診査(4か月児健康診査)の受診率					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・母子健康管理事業
実績値	%	98.5	97.8	97.7		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	広報や案内通知で健診日を確認し、健康診査を受けた。					
市役所	健診対象者の受診日を広報に掲載するとともに、勧奨通知を予防接種の予診表とともに対象者へ送付し、受診忘れなどを防いだ。					


目標達成のための今後の展開方針


母子手帳交付時に妊産婦健康診査の必要性を知らせ、受診を勧奨する。また、乳幼児健康診査未受診者に対し、はがき、電話等により受診勧奨していく。



個別目標に対するまちづくり評価



妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減のための助成制度を継続してほしい。また、妊産婦を対象にした各種教室の内容を充実していただき、出産・子育てへの不安を少しでも解消できるように手助けしてもらいたい。

個別目標④ 市民が安心して医療を受けている

指標名	かかりつけ医をもっている市民の割合					
	単位	H19 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	57.0	58.0	60.0	・地域医療推進支援事業
実績値	%	56.2	—	—	56.8	
達成率	%	—	—	—	94.7	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	市から提供される情報により、病状やケガの程度により医療機関を選んでいる。					
市役所	市HP及び広報で、休日の昼間、夜間の診療体制情報を提供するとともに、市HP内の保健のセンターページで、尾北医師会、尾北歯科医師会のHPにリンクし、各医療機関の診療科目、診療時間、所在等の情報を提供した。					

指標名	病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	50.0	51.0	53.0	・休日急病診療所管理・運営事業 ・地域医療推進支援事業 ・江南厚生病院建設費補助事業
実績値	%	49.3	—	—	71.7	
達成率	%	—	—	—	135.3	
達成状況	—	—	—	—		
取り組みの状況						
市民	医療機関の診療時間外の急な病気やケガの場合は、軽度であれば休日急病診療所を受診し、重度の場合は2次救急医療機関を受診している。					
市役所	休日急病診療所の開設、第2次救急医療対策費補助金・小児救急医療対策費補助金の医療機関等への交付及び江南厚生病院建設費補助金の交付により、医療機関等への支援を実施し、医療体制の確保に努めた。					

指標名	休日急病診療所の受診者数					
	単位	H20 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	人	—	2,138	2,200	2,200	・休日急病診療所管理・運営事業
実績値	人	2,138	2,138	2,538		
達成率	%	—	100	115.4		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	休日の急な病やケガは休日急病診療所を受診している。					
市役所	休日急病診療所を70日開設し、内科・小児科・外科・歯科の診療を実施した。平成21年度は新型インフルエンザの流行による緊急対応として、11月15日診療から診療時間を1時間延長し診療を実施した。					

指標名	救急搬送件数					
	単位	H20 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	件	—	4,000	4,000	4,000	・地域医療推進支援事業
実績値	件	4,000	3,977	3,868		
達成率	%	—	100.6	103.4		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	重篤な病や大きなケガの場合は、高度で専門的な医療を受けることができる第2次救急医療機関を受診している。
市役所	第2次救急医療対策費補助金を交付し、第2次救急医療機関の運営を支援した。

目標達成のための今後の展開方針

在宅当番医制は、医薬分業等の医療環境の変化や当番医の所在が分かりにくいなどの問題があることから、平成22年度から在宅当番医制を廃止し、休日急病診療所の診療時間を延長し、休日の夜間診療を検討する。

個別目標に対するまちづくり評価

平成21年度は、新型インフルエンザ流行に伴い休日急病診療所の診療時間を延長対応し、延べ2,538人の受診があった。
今後も引き続き、小児の一次救急医療体制や2次救急医療体制の確保を目的に補助金を交付するとともに、江南厚生病院建設費補助金、尾北看護専門学校(全日制)運営費補助金を交付し、医療体制の充実を図っていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

健康診査、がん検診などの検(健)診の実施内容を、市広報及びHPへの掲載、地区回覧で周知するとともに、平成21年度は啓発ポスターを作成し市施設及び医療機関等でPRを行ったが、受診率の向上にはつながらなかった。

三種混合、BCGなどの予防接種、妊婦健康診査、乳幼児健康診査は、ともに高い接種率・受診率を確保することができた。

また、平成21年度は新型インフルエンザの流行により休日急病診療所の受診者数は前年度対比400人の増加となったが、診療時間の延長などの対応により、市民が安心できる医療体制をとることができた。

◆柱全体の今後の課題

生活スタイルの変化により生活習慣病が増加し、当市でも、がん・循環器病・糖尿病などの生活習慣病による死因が上位を占めている。その一因として、健康診査や各種がん検診の受診率が低いという現実があり、疾病の早期発見、早期治療のためにも、健康診査等の受診率の向上が必要となる。

国で差し控えられていた、日本脳炎の予防接種が開始されることから接種体制の確保と、接種の機会を逃がした者への救済が課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

がん検診などの検(健)診の受診PRを重点的に実施し、受診率等の向上を目指す。各種の予防接種や妊婦健康診査、乳幼児健康診査は、ともに高い接種率、受診率となっているが、さらなる向上を目指し、引き続き勧奨等に努める。

まちづくり評価シート

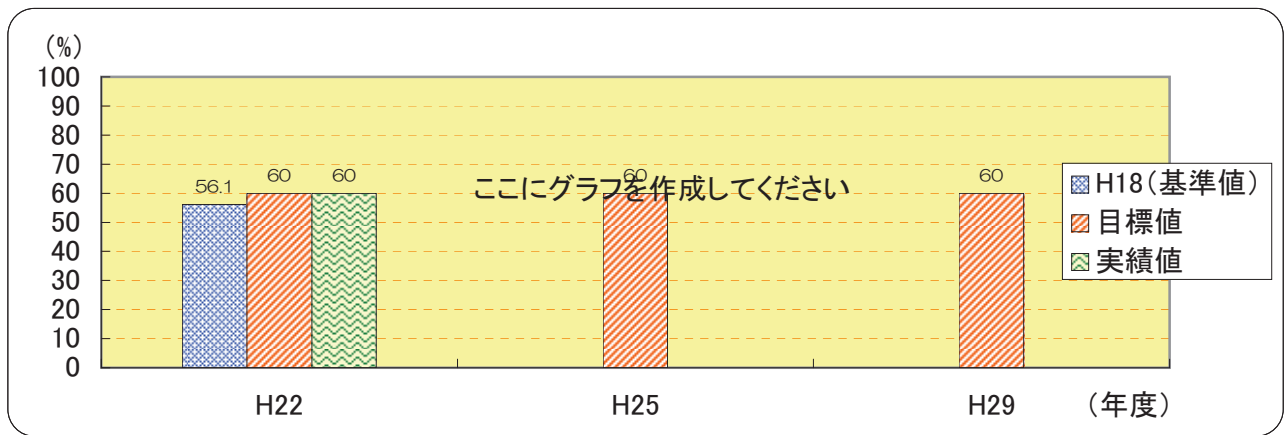
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

保険年金課【担う柱：5 保険年金制度の健全な運営】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H22	実績値の分析
目標値	%	—	60.0	60.0%の市民が保険年金制度により安心して暮らしていると感じており、前回調査の56.1%を上回り、目標を達成することができた。これは、窓口において親切、丁寧な対応を心掛けたこと、「国保のしおり」などを通じて医療制度のPRを図ったことなどが評価されたものと思われる。
実績値	%	56.1	60.0	
達成率	%	—	100.0	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価



目標は達成できているが、経済不況の今日においては、国民健康保険および後期高齢者医療制度の社会保障としての役割がこれまで以上に重要となるため、今後も健全で安定した運営に努めてほしい。



個別目標① 医療保険制度が健全に運営され、市民が安心して医療を受けている



指標名	国民健康保険給付実施率					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・保険給付事業
実績値	%	100.0	100.0	100.0		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—	☀	☀		



取り組みの状況



市民	高額療養費や療養費などの必要な給付について申請を行った。
市役所	被保険者に必要な医療給付等を実施した。

指標名 特定健康診査実施率						
	単位	H (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	41.0	47.0	50.0	・特定健康診査・特定保健指導事業
実績値	%	—	44.0	45.46		
達成率	%	—	107.3	96.7		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	40歳以上の被保険者は、特定健康診査・特定保健指導を受診し、健康維持に努めた。					
市役所	受診率の向上をめざし、広報等でのPRに努めた。					

指標名 福祉医療費助成実施率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・福祉医療費助成事業
実績値	%	100.0	100.0	100.0		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	福祉医療受給者は、福祉医療の助成に関する届出を行った。					
市役所	医療費受給者証を交付し、医療費の助成を実施した。					

指標名 後期高齢者医療給付実施率						
	単位	H (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	・後期高齢者医療支援事業
実績値	%	—	100.0	100.0		
達成率	%	—	100.0	100.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	容易に保養所を利用することができ、健康保持・増進を図ることができた。また、ジェネリック医薬品を使用することにより医療費を抑えることができた。					
市役所	協定保養所助成事業及びジェネリック医薬品について、広報等により周知した。					



指標名 国民健康保険税現年課税分収納率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	92.0	92.0	92.0	・収納対策事業 ・コンビ収納事務処理事業
実績値	%	91.7	89.9	89.3		
達成率	%	—	0.0	0.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	国民健康保険税を納付した。					
市役所	戸別訪問徴収を実施した。 多重債務者に対する納税相談を実施した。 口座振替勧奨を窓口で行った。					

指標名 後期高齢者医療保険料納付率						
	単位	H- (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.0	98.0	・後期高齢者医療支援事業
実績値	%	—	98.9	99.0		
達成率	%	—	100.9	101.0		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	滞納することなく、計画的に安心して保険料を納めることができた。					
市役所	軽自動車を購入し、保険料の徴収や納付相談等、被保険者へきめ細かな対応を行った。					

目標達成のための今後の展開方針						
<p>国民健康保険の給付については、新たな制度改正に対し、的確に対応していく。</p> <p>特定健康診査については、引き続き実施期間、実施方法などの見直しを順次行い、受診率の向上を目指す。</p> <p>県制度の補助対象の見直しに併せた子ども医療など受給対象者の拡大を検討する。</p> <p>国民健康保険税の収納については、制度理解への啓発、口座振替の勧奨などにより、引き続き収納率の向上を図る。</p> <p>高齢者の方々の医療を確保するため、後期高齢者医療制度の啓発及びきめ細かな納付相談を行う。</p>						

個別目標に対するまちづくり評価						
<p>国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療の各保険医療の給付については実施できている。</p> <p>国民健康保険及び後期高齢者医療については、健全な運営ができるよう保険税(料)の収納率の向上をめざして各種事業に取り組んでほしい。</p>						

個別目標② 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

指標名 国民年金保険料納付率						
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業
目標値	%	—	↑	↑	↑	・年金異動処理事業 ・年金保険料納付事業 ・年金給付事業 ・年金推進事業 ・年金相談事業
実績値	%	69.4	66.0	64.0		
達成率	%	—	—	—		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求手続きなどを行なった。 ・国民年金の保険料を納付した。 					
市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・国民年金の届出、納付その他制度に関する広報を行なった。 ・国民年金の資格取得などの届出、免除などの申請、給付に関する請求書などを受理し、日本年金機構に報告した。 ・国民年金の業務や制度に関する相談を行った。 					

目標達成のための今後の展開方針						
<p>保険料納付督促や制度の周知に関する広報活動や免除申請の受付等の事務を継続して実施し、年金事務所と協力連携して保険料納付率の向上に継続して取り組む。</p>						

個別目標に対するまちづくり評価						
<p>年金記録問題による国民年金制度への信頼低下、経済不況による家計への悪影響などの問題が深刻なため、国民年金保険料納付率は低下する傾向にあると考えるが、保険料納付督促や制度の周知に関する広報活動や免除申請の受付等の事務を継続して実施し、年金事務所と協力連携して保険料納付率の向上に継続して取り組んでほしい。</p>						

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

国民健康保険、後期高齢者医療、障害者など福祉医療などについては適確に給付を実施し、市民の生活の不安を軽減することができた。

国民年金の資格異動や免除申請、給付に関する請求手続について受付をし、日本年金機構へ報告を行うなど、国民年金事務を円滑に進めることができた。

◆柱全体の今後の課題

国民健康保険及び高齢者医療制度の健全で安定した運営を維持するためには、保険税(料)の確保及び医療費の抑制が課題となる。

国民年金制度が、今後も安定した制度の運営を持続できるようにするためには、制度のPRと保険料の納付督促の推進が課題となる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

医療制度については、広報やパンフレットを利用した納税や口座振替の勧奨、医療費についての情報などについて広く周知を図る。

国民年金保険料の納付率の向上をめざし、年金事務所との協力体制を強化する。また、国民の年金制度に対する関心を高めるため、制度のPRなどを広く行う。

まちづくり評価シート

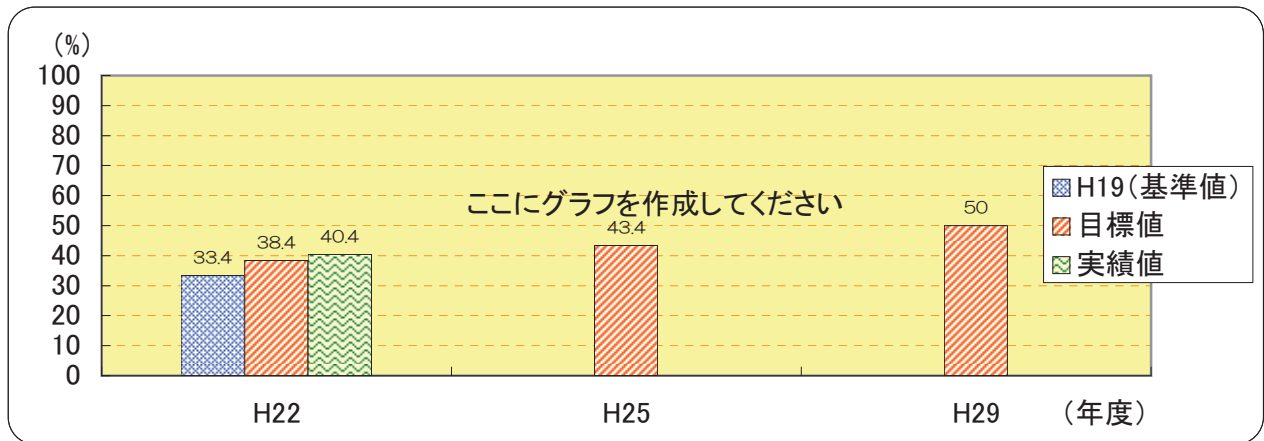
健康福祉部【担う分野：Ⅱ 健康、福祉分野】

福祉課【担う柱：6 地域での生活支援の充実と地域で支え合う体制の確保】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 生活困窮者や高齢者などへの生活支援が充実し地域で支え合い、誰もが地域で安心して暮らしている

指標名	必要なときに地域で支えあう体制が整っていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H22	実績値の分析 ハローワークなど関係機関との連携による支援を行ったことにより、平成22年4月に実施した、市民満足度調査結果により目標値の達成率が105.2%という結果になった。
目標値	%	—	38.4	
実績値	%	33.4	40.4	
達成率	%	—	105.2	
達成状況	—	—	☀	



全体目標に対するまちづくり評価
ハローワーク、民生委員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援及び身体障害者福祉会、赤十字奉仕団など社会福祉関係団体の活動を支援した。

個別目標① 生活困窮者や被災者が支援を受け、自立している

指標名	生活保護世帯の自立した割合					
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	主な事務事業 ・生活保護事業 ・住宅手当緊急特別措置事業
目標値	%	—	→	→	→	
実績値	%	13.5	19.4	24.6		
達成率	%	—	—	—		
達成状況	—	—	☀	☀		

取り組みの状況	
市民	生活保護受給者が自立に向け、ハローワークでの就労活動等を行った。
市役所	生活保護者の自立を促すため、随時面談等を実施して、生活環境や就労等のアドバイスをを行った。 離職者で住居を喪失する者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給し安心して就職活動が図れるようにした。



目標達成のための今後の展開方針

生活困窮者が、年々増大することが予想される。そうしたニーズに対応できる相談体制が必要である。

個別目標に対するまちづくり評価



派遣切り等の経済情勢の変化により生活困窮者が、年々増大することが予想される。そうしたニーズに対応できる相談体制の整備をお願いしたい。

個別目標② 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている

指標名	社会福祉関係の団体数、参加人数【団体数】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	団体	—	19	20	21	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値	団体	19	23	23		
達成率	%	—	121.1	115.0		
達成状況	—	—				



取り組みの状況

市民	色々な行事に団体が参加し、団体の活動についてのPR等を行った。
市役所	各団体への財政支援及び会議や活動の場に赴き、支援や助言を行った。

指標名	社会福祉関係の団体数、参加人数【参加人数】					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	760	775	790	・社会福祉関係団体育成事業 ・障害者団体育成事業
実績値	人	760	750	770		
達成率	%	—	0.0	99.4		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	スポーツ大会、作品展など団体が行う事業に参加した。
市役所	スポーツ大会などを行うための障害者(児)連絡協議会や社会福祉協議会を通じてボランティアセンターへの支援を行った。

指標名	市内の福祉関係のNPO団体数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	団体	—	3	4	5	・社会福祉協議会
実績値	団体	3	3	5		
達成率	%	—	100.0	125.0		
達成状況	—	—				

取り組みの状況

市民	各団体が行っている福祉活動を通して、ボランティア活動に参加した。
市役所	各団体へ各種関係情報を提供した。



目標達成のための今後の展開方針

地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やすため、活動内容等をPRしてゆく。

個別目標に対するまちづくり評価

各団体の会員の構成が高齢化している。また、地域社会の担い手となるべき各団体の会員を増やす必要がある。

個別目標③ 生活困窮者や高齢者などは、民生委員等の支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

指標名	民生委員の相談支援件数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	件	—	↑	↑	↑	・民生委員事業
実績値	件	2,103	2,126	2,178		
達成率	%	—	—	—		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	生活面や経済面などの困りごとについて、身近な地区の民生委員に相談した。					
市役所	地域住民のからのニーズに対応するために、研修会の開催等民生委員の知識向上を図った。					



目標達成のための今後の展開方針

古知野第2地区の地区割りが大きいので、22年度改選時において分割を行う。

個別目標に対するまちづくり評価

地域で身近な相談ができる方として民生委員は重要である。今後も研修会等を行い、民生委員の知識向上を図ってもらいたい。

個別目標④ 地域住民が地域福祉活動や学習活動を積極的に行っている

指標名	市の学習等供用施設の利用者数					主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H20	H21	H22	
目標値	人	—	123,000	124,000	125,000	・学習等供用施設管理運営事業
実績値	人	121,286	133,338	129,458		
達成率	%	—	108.4	104.4		
達成状況	—	—				
取り組みの状況						
市民	施設予約システムにより施設の空き状況を確認した。					
市役所	施設の効率的及び効果的な運営ができた。					

目標達成のための今後の展開方針

市民が利用しやすい環境を図っていく。

個別目標に対するまちづくり評価

年始年末を除く全日開館したこと、施設予約システムでの運用は評価できる。市民ニーズを把握し、さらに利用しやすい環境をお願いしたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

ハローワーク、民生委員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができた。また、身体障害者福祉会、赤十字奉仕団など社会福祉関係団体の活動を支援した。

◆柱全体の今後の課題

社会経済情勢の悪化等により生活困窮者や高齢者などが増え続けている中、これらの方の自立に向けての経済的支援や生活支援等を充実させ、より一層関係機関との連携を求められる。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

生活困窮者などの自立支援に向け、ハローワーク、江南市社会福祉協議会と連携し、就労等の相談や経済的支援体制の整備を図るとともに、民生委員や福祉ボランティア等地域で支え合う体制の整備を図る。